



10月21日・市民会館の様子

平成17年度で終了する第4次枕崎市総合振興計画に代わる第5次枕崎市総合振興計画（平成18年度～平成27年度までの10年計画）を策定するにあたり、広く市民の皆様からご意見、要望等を聞くために「市民と市政を語る会」を開催してまいりましたが、11月9日の大堀公民館で全て終了しました。前回は、10月5日の金山センターから立神センターまでの4会場で開催された中で市民の皆様からいただいたご意見、要望やご質問の主なものを紹介しましたので、今回は、10月21日の市民会館で開催されたものから11月9日に大堀公民館で開催された最後の会までをまとめて報告します。

今後10年間のまちづくりを考える 市民と市政を語る会②

10月21日・市民会館 24日・児童館 26日・健康センター 27日・別府コミュニティセンター 31日下山公民館
11月2日・西白沢公民館 4日・真茅公民館 7日・新町公民館 9日・大堀公民館

主な意見・要望等(抜粋)

【生活環境】 関係

①環境運動の取組みについて

【提案】 金山小学校がエコやリサイクルについて取組んでいるという新聞報道があった。市としてもマイバッグ運動や生ごみ収集日を週3回から週2回に減らすなどしたらどうか。

【都市基盤】 関係

①南薩線跡地について

【質問】 市立保育所から亀沢までを工事中であるが、今後のように具体的に検討していききたい。

【回答】 花渡川の河川工事の残土を埋めているところである。今後のことは庁内で具体的に検討していききたい。

【産業経済】 関係

①駅周辺開発について

【質問】 タイヨーが今の枕崎駅のところに移ると聞いたが、どのようなことか。

【健康福祉】 関係

①生活保護について

【質問】 枕崎市内の生活保護世帯はどれくらいか。生活保護費は、全て市が出すのか。

【回答】 平成16年度で約230世帯である。数的には増える傾向にある。生活保護費は現在、国が75%出しているが、国の負担を

軽減しようという動きがある。これに対して全国市長会は反対している。

②人間ドックの補助金について

【要望】 農閑期を利用して人間ドックに行っているが、今年は先着順ということで補助が全くなかった。希望者には予算でも補助を出して欲しい。金額を少なくして少しでも多くの人に出すようにしてドックの受診者が増えるような工夫をして欲しい。

【回答】 次年度の検討課題としたい。

③国民年金について

【質問】 国民年金の収納率はどの様になっているのか。

【回答】 収納率については、平成15年度では約68%、平成16年度は約69%で、他の市町に比べると良いようである。

④給食サービスについて

【質問】 一人暮らしであれば給食サービスを受けられるが、家族と一緒に住んでいても給

食サービスを受けるようにできないのか。

【回答】 制度改正で平成16年度から要望があれば、見守事業として同居者が不在の時間帯の給食サービスを受けられるようになったので、申請していただきたい。

【教育文化】 関係

①教育委員会の施設について

【要望】 市民会館の冷暖房の使用について、受益者負担は十分理解しているが、網戸などの整備も行つてほしい。

【要望】 テニスを楽しみなが健康維持に努めている。近年、テニスコートの痛みがひどくて、これまで枕崎で開催していた大会を中止せざるを得ない状況である。非常に残念なことである。テニスコートの修復をお願いしたい。

【回答】 スポーツと文化が人を呼ぶと考えている。公共施設の補修に金が掛かる状況である。優先順位を決めて修復に努めて行きたい。

【行財政】 関係

①地域住民と行政との意見交換の場の設置について

【要望】 地域住民と行政が意見交換する場を年に2回程度は設けてほしい。

②行財政改革について

【質問】 これまでの行財政改革の取組の効果等について教えてほしい。

【回答】 平成14年度から17年度までを実施期間とする「行財政改革実施計画」等に基づいて、計画的に行財政改革を進めてきている。この計画期間内での効果額については、10億円を超える効果額が見込まれている。

これまでの主な実績としては、職員数の削減や職員給与の5%削減などの人件費の見直し、小学校の空き教室を書庫として活用した庁舎増築計

【回答】 JRが山川か願娃まで撤退するという話があり、タイヨーが郊外に移るということを聞いた。そうすると枕崎の中心街は空洞化することが危惧されたので、市とJR、いわさきコーポレーションが協議してJRが南側に約100戸ホームを移すことになった。タイヨーがいわさきコーポレーションから土地を買って新店舗を建てる予定になった。これらの計画が決まるのは12月初めになると思う。

JRのホーム移設は平成18年5月頃になる。タイヨーの新店舗開店は平成18年の11月頃になると思う。

（※駅周辺開発については来月号の「広報まぐらぎ」で詳しく掲載します）

状況はどうなるのか。

【回答】 枕崎市の財政状況は、国における三位一体の改革による地方交付税等の削減などの影響もあり、大変厳しい状況に直面している。本年6月の財政推計によると、現状維持のまま、これまでどおりの財政運営を継続すれば、平成19年度にも財政再建団体へ転落しかねないという危機的状況にある。

仮に財政再建団体になった場合には、市の財政運営は国の管理下に置かれ、各種使用料及び手数料などの大幅な引上げを含む歳入確保のほか、福祉や教育施策であっても、市独自の政策判断と実行が制限されることとなり、市民生活にも大きな影響を与えることは必至である。行財政改革を強力に推進して、何としてそのような事態は避けなければならない。

③市職員の接遇の向上について

【要望】 市役所を訪れた人に対して声かけをしてほしい。そうすれば、市民の皆さんにも親近感をもってもらえるのではないかと。